

1月30日 マルコによる福音書1章40～45節 今日の説教から
説教題：「イエス様ならできるんです！」

今日の聖書箇所では、先週少しお話しした「重い皮膚病」を患っている人への「治癒の奇跡」が行われています。この「重い皮膚病」と翻訳されている言葉は、旧約聖書の中では出エジプト記4章で初めて登場します。イスラエルの民をエジプトから導き出すためにモーセに与えられたしの一つが、この重い皮膚病を生み出す力であり、さらにそれをきれいさっぱり治す力でした。それは、イエス様が今日の個所で行った治癒と同じく、奇跡としか言えないような力でした。

この病気にかかった人は、自分が感染者であることを公言しなければいけませんでした。レビ記13章には、「重い皮膚病にかかっている患者は、衣服を裂き、髪をほどき、口ひげを覆い、『わたしは汚れた者です。汚れた者です』と呼ばわらねばならない。この症状があるかぎり、その人は汚れている。その人は独りで宿営の外に住まねばならない」(45～46節)と記されています。町の外に遠ざけられ、誰かが近づいたら、「私は汚れている」と叫ぶことで、他の人にその宗教的な汚れをうつさないようにする義務が課せられていたのです。

だからこそ、この人も町のはずれで、一人で暮らしていたのでしょう。病気と罪が密接な関係にあると理解されていたために、「自分は罪を犯したのだ」という罪悪感と、誰とも接することのできない孤独に打ち震えながら、いつになるか分からない病気が治る時を待ち続けていたことでしょう。だからこそ、今日の個所でこの病人は「一人で」イエス様と出会っています。そして、町に入ることが許されないこの人物が一人でイエス様に会ったのですから、それはつまりイエス様の方から会いに来たのでしょう。誰もが触れようとしない人に歩み寄って手を差し伸べる。それが私たちの主であるイエス様の姿なのです。病人の「御心ならば、わたしを清くすることができます」という信仰に応えて、「清くなれ」という言葉によって、その皮膚はたちまちきれいに治りました。人間の手では治すことのできない病気を治し、罪のせいだと言われていた病人に「あなたの罪は赦された」と優しく声をかける。それが、私たちが従うべきイエス様の姿なのです。

いま、私たちも大きな感染症と隣り合わせで生活をしています。いつ、私たち一人一人が、私たちの隣人が、今日の個所で言う「重い皮膚病」だと判断されてもおかしくありません。「日頃の行いが悪かったから感染した」「ちゃんと対策をしていなかったから感染したのだ」と言われることがある状況ではありますが、このコロナウィルスによる感染は、最後は「運」としか言いようがない状況で感染が進んでいます。濃厚接触によって必ず感染するわけでもなければ、逆に短時間の接触でも感染する可能性があります。

イエス様に従い、イエス様の歩みと共に歩む私たちですから、感染してしまった人に対して「頑ななユダヤ人」のように振舞わないように気を付けなければいけません。律法を表面上だけ守り、神様の求めている「愛」を失うのではなく、隣人に対する愛を、神様に対する愛を第一に考えて行動することが求められています。私たちはイエス様を信じて、神様に罪を赦されて歩むことが出来ています。その応答として、「何をなして生きるのか」を神様に問われながら日々の生活を送っていることを、忘れずにいなければいけないです。

イエス様の力に押し出されて、私たちは今日も愛の業を行うことが出来ます。その喜びを胸に、今週一週間の、これから歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：マルコによる福音書1章40～45節

- 40:さて、重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と言った。イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は去り、その人は清くなった。イエスはすぐにその人を立ち去らせようとし、厳しく注意して、言われた。「だれにも、何も話さないように気をつけなさい。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めたものを清めのために献げて、人々に証明しなさい。」しかし、彼はそこを立ち去ると、大いにこの出来事を人々に告げ、言い広め始めた。それで、イエスはもはや公然と町に入ることができず、町の外の人のいない所におられた。それでも、人々は四方からイエスのところに集まって來た。

マタイによる福音書11章1～6節

- 1: イエスは十二人の弟子に指図を与え終わると、そこを去り、方々の町で教え、宣教された。ヨハネは牢の中で、キリストのなさったことを聞いた。そこで、自分の弟子たちを送って、尋ねさせた。「来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。」イエスはお答えになった。「行って、見聞きしていることをヨハネに伝えなさい。目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。わたしにつまずかない人は幸いである。」